

株式上場支援

企業の新たな成長ステージに向けたサポートを行います



背景

企業にとって株式市場へのアクセスは、成長資金を調達し、さらなる成長に向けたステップアップを行う上で極めて重要です。一般的に、株式上場には①資金調達の多様化、②社会的知名度・信用度の向上③組織的経営の確立④創業者利益の実現といったメリットがあります。

株式上場における一般的な課題

株式上場にあたって、一般的に次の課題が挙げられます。

- (1) 経営組織の確立
上場会社にふさわしい組織体制とするため、必要な人材の確保を行います。
- (2) 事業計画の策定
合理的な中長期計画を作成するとともに、単年度予算と実績の分析を実施します。
- (3) 決算体制の確立
四半期・年度の決算体制のみならず、月次で決算数値を把握できる体制を構築します。
- (4) 社内規程の整備
上場会社にふさわしい諸規程を整備するとともに適切に運用します。
- (5) 内部監査の実施
他の部署から独立した社長の直轄組織として内部監査を実施します。
- (6) 会計制度・監査受入態勢の整備
一般に公正妥当と認められた会計基準へ準拠し、タイムリーな情報収集や財務数値作成ができる体制を構築します。
- (7) 上場申請書類の作成
有価証券届出書や上場申請のための有価証券報告書（Ⅰの部、Ⅱの部）、その他申請書類を作成します。
- (8) 特別利害関係者等との取引解消
特別利害関係者等との取引を把握し、合理的に説明できない取引については、解消します。
- (9) 資本政策
必要資金の調達、安定株主確保、創業者利益獲得、従業員のインセンティブなどに留意しながら、資本政策を策定します。
- (10) 税務対策
上場へ向けてのグループ再編における課税関係や上場株式と非上場株式の課税関係の違いなどの税務上の課題を整理し、必要な対応を実施します。

PwCが提供するサービス

株式上場における課題に対して、私どもはさまざまな解決案をご提供します。

■ IPO準備全般にかかる助言・指導

- IPOへ向けての課題把握（予備調査の実施）
- IPO準備のアクションプラン策定
- IPOプロジェクトの管理・推進

■ IPOを前提とした戦略・計画にかかる助言・指導

- 事業計画策定
- グループ再編、関連当事者取引の見直し
- 資本政策立案
- IR戦略策定

■ IPOのための経営管理体制整備にかかる助言・指導

- J-SOX対応
- コーポレートガバナンス体制の整備
- コンプライアンス態勢の見直し
- リスクマネジメント体制の整備
- 経営管理組織の整備
- 社内管理諸規程の整備
- 労務管理体制の整備

■ IPOを前提とした会計・財務にかかる助言・指導

- 財務分析
- 会計処理方法の検討
- 企業内容開示全般
- IFRS対応

■ IT整備にかかる助言・指導

- IT・システムにかかる診断（システムリスク評価、データ分析、システム稼働前診断など）
- 基幹システム・会計システムに関する課題改善
- 情報セキュリティに関する課題改善

お問い合わせ先

あらた監査法人
〒104-0061 東京都中央区銀座8-21-1
住友不動産汐留浜離宮ビル23F
aarata.fra-grgcs.ipo@jp.pwc.com

仲澤 孝宏 財務報告アドバイザリー部 パートナー
080-3158-6591

takahiro.nakazawa@jp.pwc.com

美若 晃伸 財務報告アドバイザリー部 ディレクター
090-6515-1966

terunobu.miwaka@jp.pwc.com

越田 勝 財務報告アドバイザリー部 ディレクター
090-9971-9116

masaru.koshida@jp.pwc.com

あらた監査法人は世界最大級の会計事務所であるPwCグローバルネットワークの日本におけるメンバーファームです。